

充電式チェーンソー 350mm 取扱説明書

50Vリチウムイオン電池パック

UB50VCBL40BPCG350N





もくじ

安全上のご注意	1～8
各部のなまえとはたらき	9～10
ご使用前の準備	
電池パックを充電する	11～14
チェーン刃の取付け・取外し・調整のしかた	15～18
ご使用前の準備	19～20
ご使用方法・作業方法	21～26
電池パック・充電器について	27
お手入れ・保管 チェーンの見立て	28～30
お手入れ・保管	31
故障かな?と思ったときに	32
仕様	33
修理について	34



- このたびはUBERMANN製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただいて正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください。




- いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※表記内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や、傷害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることや、可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が傷害を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

- ※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しているので、必ず守ってください。
- ※お守りいただく内容は下記の図記号で表しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

 警告	
 禁止	●換気の良くない場所での充電はしないでください。
	●可燃性の液体ガスのある場所で使用したり充電したりしないでください。 ※発熱・発火・発煙・破裂のおそれがあります。
 実行	●作業箇所に電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを十分確認ください。 ※埋設物に触れると感電や漏電、ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
	●騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い（イヤーマフ）などの防音保護具を着用してください。 ※守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
	●作業時は保護メガネを使用してください。及び粉塵が多い作業または環境では、防塵マスクを併用してください。 ※守らないと目、喉に傷害を受けることがあります。
	●作業する場所は十分に明るくしてください。 ※暗くて視野が悪いと、事故やけがの原因になります。
	●加工物はしっかりと固定してください。 ※不意に動き、けがををするおそれがあります。安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
	●作業する場所はキレイに保ってください。 ※散らかった場所部材が散乱していると事故の原因になります。
●取扱や作業方法、周りの状況などを十分注意して、常識を働かせて作業をしてください。 ※守らないと事故やけがのおそれがあります。	

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 屋外での作業の場合は、滑らない履物を使用してください。
※守らないと滑ってけがの原因になります。
- 衣服や髪・アクセサリーなどが、巻き込まれないような服装で作業してください。
※守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。長い髪は帽子や、ヘアバンドなどで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどは着用しないでください。
- 高所作業時は、墜落防止用器具を使用してください。
※下に人がいないことを確認してください。守らないと事故のおそれがあります。

⚠ 注意

⊘ 禁止

- 子供の手の届くところに置かないでください。
※事故やトラブルのおそれがあります。
- 子供などの作業員以外を作業場に近づけたり、先端工具や充電器に触れさせたりしないでください。
※けがのおそれがあります。
- 疲れているときは使用しないでください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 無理な姿勢での作業はしないでください。
※転倒してけがをするおそれがあります。常に足元をしっかりとらせ、バランスよく作業できるようにしてください。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

⊘ 禁止

- 電池パックは、火中への投入、加熱はしないでください。
- 電池パックの端子部を金属など接続させないでください。
- 電池パックを釘・ネジなどの金属と一緒に持ち込んだり、保管はしないでください。
- 電池パックに釘・ネジなどを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
※漏電や感電などで発火の原因になります。
- 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使用しないでください。
また、改造した電池パックや分解して内蔵部品を交換した電池パックなども使用しないでください。
- 劣化した電池パックは使用しないでください。
※発熱・発火・破裂のおそれがあります。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

🚫 禁止

- 当社電池パックは、専用充電器以外では充電しないでください。
※電池の液漏れ、発熱・発火・破裂や充電器の故障の原因になります。
- 電池パックを取付ける前に、スイッチ OFF を確認してください。
※スイッチ ON のままだと事故につながる可能性があります。
- 電池パックは、「UBERMANN」製品以外に取付けないでください。
- 電池パックを高温場所で充電、使用、保管しないでください。
※電池パックを、周りの温度 50℃以上の場所には保管しないでください。
電池パック劣化要因となり、発火、発煙のおそれがあります。
- 電池パックを油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。
※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- 電池パックを満充電しても、著しく作業時間が短くなった電池パックは使わないで下さい。
- 電池パックが使用中、使用後熱くなることがあります。火傷の原因となるため注意してください。
- 充電中、充電器や電池パックを布やダンボールなどで覆わないでください。

⚠ 実行

- 電池の液が漏れたときは素手で触らず、以下の処理をしてください。
※液が目に入ったときは失明のおそれがあります。目をこすらずに、直ちにきれいな水で洗ったあと、医師に相談してください。
※液が身体や衣服に付くと、皮膚の炎症や、けがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師に相談してください。
※液モシた電池パックは、使用を中止し、火に近づかないようにしてください。すぐに販売店に相談してください。
- 複数の電池パックに渡る連続作業はしないでください。
※本機・電池パックは約 20 分、熱を冷ましてからご使用ください。
- 電池パックは最後までスライドさせ、カチッと音がして外れないことを必ず確認してください。
※守らないと、電池パックが落下し、事故になるおそれがあります。

⚠ 警告

●コンセントや配線器具に定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしないでください。
※タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因になります。

●電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください。

●さす・破損・加工・無理な曲げ・ねじり・引っ張り・挟み込む・束ねる・熱器具に近づけたりしないでください。
※傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店に相談してください。

●直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

●本体及び充電器の通気口を塞がないでください。
※火傷をしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。

●本体や充電器の通気口から出る熱風を直接肌に当てないでください。

●作業直後は、先端工具（ビット、チップソー等）やネジ・切りくず・電子端子に触れないでください。
※高温になっており火傷や切り傷などのおそれがあります。

●改造や分解をしないでください。
※火災、感電、けがのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

●雨中や、湿ったまたは濡れた場所で、使用したり充電したりしないでください。
※感電や発煙のおそれがあります。

●濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。また、充電器や電池パックも触らないでください。
※感電のおそれがあります。

●使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

●本体、充電器を油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。
※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。

⊘ 禁止

●電源プラグは最後の根元まで確実に差し込んでください。
※差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。傷んだコードやプラグ、緩んだコンセントなどは、絶対使用しないでください。

⚠ 実行

●電源プラグのホコリ等は定期的に除去してください。
※プラグなどにホコリが溜まると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

●指定の付属品を利用してください。
※守らないとけがをするおそれがあります。

⚠ 警告

❗ 実行

- 使用前に本体、充電器、電池パック、充電器及び先端パーツや、その他の部品が損傷なく正常に作動することを確認してください。
※守らないと破損等によりけがをするおそれがあります。
- 本体が熱くなったら、作業を中断し、温度が下がってから使用してください。
※守らないと火傷をするおそれがあります。
- 屋外で充電するときは、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。また、太さ（導体公称断面積）2.0mm²×長さ10mの延長コードを使用することを推奨します。最高の能率でご使用いただけます。
※守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
- 使用前にコードの破損がないか点検してから、使用してください。電源プラグを持って抜いてください。
※コードを持って抜くと、破断、感電、ショートの原因になります。
- 使用場面に合った延長コードを使用してください。
- USB端子付きの充電器は、USB端子間をショートさせないでください。
※針金などがUSB端子に入るとショートして発煙、発火のおそれがあります。
- 集じん機能があるものは接続して、使用してください。
※これを使用すれば粉じんの人体への負担を減らせます。
- 安全、効率よく作業いただくため本機は、能力に合った作業に使用してください。
※故障の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 本機を50℃以上になる場所に保管しないでください。
※動作異常のおそれがあります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。
※けがや事故のおそれがあります。

充電式チェーンソーに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

⊘ 禁止	<p>●本機は、木及び木製品を切断するためのものです。記載されている用途以外に使用しないでください。 ※事故や重傷を負う原因になります。</p>
	<p>●下記のような場合は、本機を使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 荒天時、落雷のおそれがあるとき● 雨中、湿気の多い場所 ※故障や感電、けがの原因になります。● 急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所● 夜間や視界が悪い場所
	<p>●ガイドバーの先端部での切断はしないでください。 ※本機がはね返り（キックバック）けがの原因になります。</p>
	<p>●使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部などに手や顔などを近づけないでください。 ※けがの原因になります。</p>
	<p>●使用中、本機の異常音、調子悪化の場合、すぐに電源を切って使用を中止し、お買い上げ販売店にお申しつけください。 ※このまま使用していると、けがの原因になります。</p>
	<p>●不安定な姿勢で使用しないでください。（はしごや木に登って作業等）また、肩の高さより高い位置で使用しないでください。 ※けがの原因になります。</p>
⚠ 実行	<p>●使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。 ※本機がはね返り、けがの原因となります。</p>
	<p>●チェーン刃は、取扱説明書に従って正しく取付けてください。 ※誤った取付け方をすると、ガイドバーからチェーン刃が外れ、けがの原因になります。</p>
	<p>●チェーン刃は、正しく目立てしてください。 ※特にデブスゲージの寸法が大きくなりすぎますと、本機のはね返り（キックバック）発生の危険性が高くなります。</p>
	<p>●切断材料は、しっかり固定し使用してください。また、切り落とし材に注意してください。 ※けがの原因になります。</p>
	<p>●ガイドバー、チェーン刃の取付け、チェーンオイルの自動供給量を調整するときは、必ず本機の電源を切り、バッテリーを取外してから行ってください。 ※電源が入ったまま行くと、不意にチェーン刃が回りだすなどして事故の原因になります。</p>

⚠ 注意

！ 実行

- 下記の保護具を着用してください。
 - ・ 頭部保護 = ヘルメット
 - ・ 目や顔の保護 = ゴーグルまたはフェイスシールド
 - ・ 聴力の保護 = 耳覆い (イヤーマフ) や耳栓
 - ・ 手を保護 = 防振手袋
 - ・ 足の保護 = 滑りにくい丈夫な作業靴
 - ・ 脚の保護 = チェーンソー用保護防護ズボン、脚カバー
- 使用しないときは、バッテリーを取外してチェーンブレーキをかけ、ガイドバーにカバーをして刃物がむき出しにならないようにし、お子様の手の届かないところに保管してください。
※ けがの原因になります。
- スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料やほかのものに当たっていないことを確認してください。
※ けがの原因になります。
- 材料に石、釘などの異物がないことを確認してください。
※ チェーン刃が石などに当たると、けがの原因になります。
- 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設置してください。
※ ガイドバーが挟み込まれるとけがの原因になります。
- チェーンカバーを取付けた状態で本機を起動しないでください。
- 本機を作動させたまま床などに放置しないでください。
※ 事故の原因になります。
- 行政機関では、チェーンソーの1日の使用時間は2時間以内、連続操作時間は10分以内にするよう指導しています。
※ 作業時間を上手く計画してください。
- チェーン刃を扱うときは手袋を着用してください。
※ けがの原因になります。
- 2台以上で作業するときは、安全な距離を確保してください。
※ 事故の原因になります。
- チェーン刃は、常に良い切れ味のものを使用ください。切れ味の悪くなったチェーン刃は目立て、交換してください。
- 風窓を手でふさいで使用しないでください。右手はトップハンドル、左手はサイドハンドル、それぞれ両手でしっかり握ってください。

充電式チェーンソーに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

事業者の方へ

本機を使用して作業者に立ち木の伐木、倒した木の切断する作業を行う場合は、法、規則で定める特別教育を受講させてください。

(関連法令)

- 労働安全衛生法第59条第3項
(2020年7月30日までは安全衛生特別教育規程は第10条の2另)
- 安全衛生特別教育規程第10条
(2020年7月30日までは労働安全衛生規則第36条第8号及び8号の2)

高所作業時での注意事項

1. 誤操作を防止する安全装置が確実に作動することを、作業前に必ず確認してください。
※事故の原因になります。
2. 両手で前後のハンドルを正しく握り、肘を軽く曲げて作業してください。片手持ち作業、腕を伸ばしてのチェーン操作は行わないでください。
※けがの原因になります。
3. 墜落防止用器具を必ず着用し身体をしっかり固定してください。
※けがや事故の原因になります。
4. 高さが2m以上の場所で、作業を行うときは高所作業用機器を活用して、安定した足場を確保してください。
※けがの原因になります。
5. 作業範囲は、作業者の肩から腰までの高さです。
※それ以外はけがの原因になります。

各部のなまえとはたらき

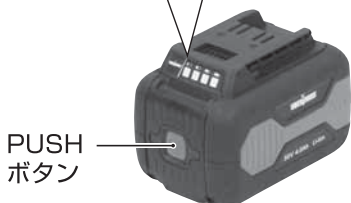
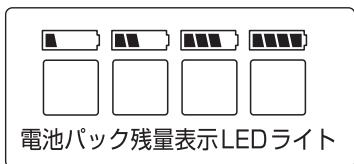
※UB50VCBL40BPCG350N セット

本体 UB50VCBLBFS350N



電池パック 1個 (P-11 参照)

UB50VBP40



- 電池パックは全て残量表示LEDライト付
- PUSH ボタンで電池電圧が一目で分かる機能付

専用充電器 1台 UB50VCG40



- 大型LED表示・充電開始及び満充電完了時に電子音機能搭載






各部のなまえとはたらき

本体・付属品・別売品品番

商品名	付属品数	別売品・品番
本体 	セット品 1個	別売品有 UB50VCBLBFS
スプロケット カバー 	セット品 1個	別売品有 UB50VCBL-SP
ガイドバー 350 	セット品 1個	別売品有 UB50VCBL-GB350
チェーンカバー 	セット品 1個	別売品有 UB50VCBL-CC350
チェーン 	セット品 1個	市販品をお買い求めください。 UB50VCBL-CS350 ※90PX052 適合
充電器 	セット品 1台	別売品有 UB50VCG40
電池パック 	セット品 1個	別売品有 UB50VBP40
取扱説明書	セット品 1冊	

ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電器充電表示ライトの見かた 【UB50VCG40】

ライト表示	表示内容	参照
 赤 (赤点灯) 通電	通電状態 赤 点灯 (電源に差し込んだ状態です) 通電表示。	P.13
 緑 (緑点滅) 充電中	充電開始時 緑 点滅 電池パックを差し込むと冷却用ファンが始動します。 充 電 中 緑 点滅 通常充電。	
 緑 (緑点灯) 充電完了	充電完了 緑 点灯 電子ブザーが『ピッピッピ』と鳴る。 充電完了の目安 約75分 (UB50VCG40)	
 緑赤 (緑・赤点滅) 温度保護	冷 却 中 緑・赤 点滅 <ol style="list-style-type: none"> ①電池パックが高温です。冷却後自動的に充電開始。 ②電池パックが氷点下です。 ※電池パック自体が約0℃以上になると自動充電開始。 電池パック自体を少し温めてから再度充電を行ってください。 ③充電器の冷却ファンに異常がある場合。 	
(異常時のライト表示及び表示内容)		
 赤 (赤点滅) 故障	電池故障の場合 赤 点滅 ※新品電池パックをお買い求めください。	

※正常な電池パックは充電器に差し込むと残量状態表示が点灯します。

冷却用自動ファンについて

- 充電を開始すると自動でファンが作動します。

電子ブザーの鳴るタイミング

- 電池パックが正常の場合、充電器に差し込んだ充電開始時に冷却用ファンが始動します。【緑点滅】
- 充電が完了すると充電表示ライトが【緑点灯】になります。同時に電子ブザーの [ピッピッピ] の音が約4秒鳴ります。

ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電の前に

- 充電器は0～40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。（充電する場所との温度差が15℃以内が良い。）
- 電池パックの温度が0℃以下または充電する場所の温度差が大きい場合は十分に充電できない場合があります。その場で長い時間（1時間以上）放置してから充電してください。（電池パックの表面温度と電池パック内部の温度差があるため）

！ 実行

- 電池パックを2個連続で充電を行う時は、充電を約30分以上休止し、充電器の温度が下がってから充電をしてください。
- 充電器はホコリの多い場所や、水や雨にかかる場所で使用しないでください。故障の原因になります。

お知らせ

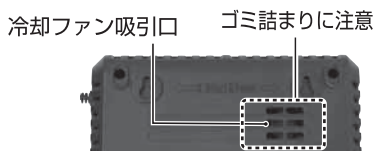
- この説明書に記載の温度は目安です。実際には条件により、多少のずれが生じる場合があります。

冷却システムについて

- ①電池パックの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンにより電池パックを効率良く冷却するシステムです。冷却ファン吸引口は送風の音がしますが故障ではありません。
- ②冷却ファンが故障したり、充電器や電池パックのゴミ詰まりによって冷却不足となった場合、「緑」「赤」のライトが交互に点滅し、冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなる場合があります。このようなときは、充電器、電池パックの通気口がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ③充電中、送風の音がしない場合がありますが、「緑」「赤」のライトが交互に点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
※充電器、電池パックの通気口をふさがないでください。
※頻繁に「緑」「赤」のライトが交互に点滅するようときは、点検・修理を販売店にお申し付けください。
- ④充電完了後冷却ファンは同時に止まりません。充電環境温度にもよりますが、満充電電池状態では電池パック自体の温度が上がっているため、ファンは止まりませんが、温度が下がれば自動で冷却ファンは停止します。充電完了と同時に止まりませんが故障ではありません。
※充電開始時および充電中に冷却ファンが全く作動しない場合は故障ですので、販売店にお持ちください。



①充電器本体



②冷却ファンの通気口
(充電器の裏側)



③電池パックの通気口
(電池パック上部)

ご使用前の準備 電池パックを充電する

電池パック残量表示LEDライトの見かた 【UB50VBP40】

- 電池パックのPUSHボタンを押すと使用前、中、後の電池残量が確認できます。

電池パックLED表示	電池電圧残量目安	充電指示状況
点灯 	75%～99%	作業良好・保管可能
点灯 	50%～75%	作業可
点灯 	25%～50%	充電をしてください
点滅 	0%～25%	作業中止・充電をしてください

- 電池残量表示LEDライトが1灯点滅のまま作動を続けると、電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といいます。

注意

- 電池パックの表示LED点灯数は利用状況や気温などによって実際の表示残量と異なる場合がありますので、目安として参考にしてください。
- 作業開始前後でもLED残量表示が異なることがありますので、作業前には満充電状態から使用されることをおすすめします。

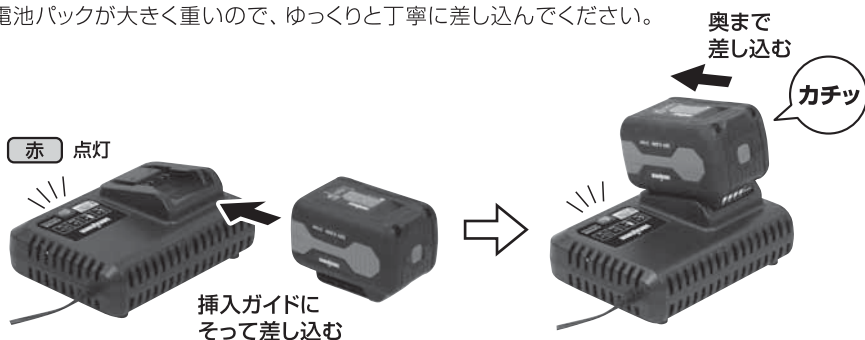
ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電のしかた

- 1 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ライトは「赤」の点灯になります。



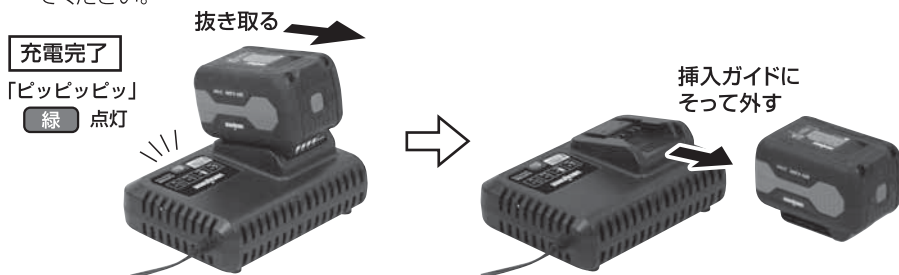
- 2 電池パックを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
※電池パックが大きく重いので、ゆっくりと丁寧に差し込んでください。



- 3 ①電池パックを挿入すると充電表示ライトが「緑」に点滅し、充電を開始します。
②充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了電子ブザーが鳴ります。そのまま電池パックを挿入しておけば冷却します。
※充電時間は周囲温度(0℃~40℃)や電池パックの状態(新品・長期保存電池パックや寿命に近い電池パックなど)により変動します。
③充電完了後すぐに使用しない場合は、電池パックの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約1時間です。
④電池パックを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

LED表示ライト

- ① **緑** 点滅
緑点滅
② **緑** +ピピピピッ...
緑点灯 数秒



ご使用前の準備 チェーン刃の取付け・取外し・調整のしかた

⚠ 警告

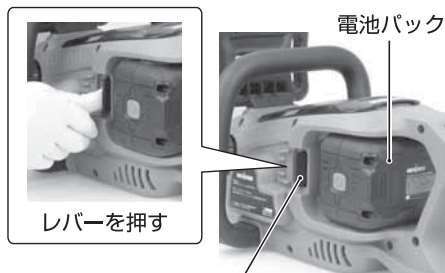
- チェーン刃取付け・取外しや調整の際は、必ず本機より電池パックを取外してから行ってください。
※電池パックが取付けてあると、不意に作動して事故の原因になります。
- チェーン刃の取付け・取外しや調整の際は、必ず手袋をして行ってください。
※チェーン刃でけがの原因になります。
- チェーン刃は、必ず適性の張り具合で調整を行ってください。
※張り方がゆるいと、ガイドバーからチェーン刃が外れ、けがの原因になります。

1 チェーン刃の取付けかた

① 電池パックを取外してください。

⚠ 必ず電池パックを取外してから作業を行う。

- 電池パック取外しレバーを押して電池パックを取出します。



電池パック
取外しレバー



② スプロケットカバーを取外してください。

- スプロケットカバー固定ダイヤルを時計の逆回り(左巻き)に回してスプロケットカバーを取外します。



スプロケットカバー

ご使用前の準備 チェーン刃の取付け・取外し・調整のしかた

③ ガイドバーにチェーン刃を取付けます。

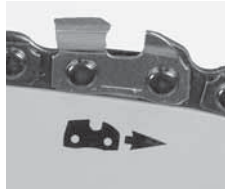
●チェーン刃を袋から取出し、ガイドバーの溝に合わせて取付けてください。

※チェーン刃には向きがあります。必ずガイドバーのマークの向きと合わせてください。



**チェーン刃を取り扱う際は必ず
防護手袋をはめて作業を行う。**

チェーン刃向きマーク



ガイドバーの溝に
刃を合わせる



ガイドバー

チェーン刃

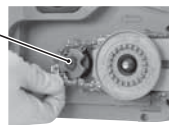
④ 本体にガイドバーを取付けます。

- スプロケットにチェーン刃を掛けます。
- ボルトにガイドバー穴を合わせてはめ込みます。
- チェーン刃がガイドバー溝の全周に入っていることを確認しながらチェーン刃調整ダイヤルを時計回し(右巻き)に回して、チェーン刃の緩みを取ってください。

※チェーン刃の張りの調整はスプロケットカバー取付け後にチェーン刃調整ダイヤルで行います。

スプロケットにチェーン刃を掛ける

スプロケット



ボルト

ガイドバー穴



まわす

チェーン刃調整ダイヤル

ご使用前の準備 チェーン刃の取付け・取外し・調整のしかた

⑤ 本体にスプロケットカバーを取付けます。

- スプロケットカバーのツメを本体に差し込んでから取付けてください。
- スプロケットカバー固定ダイヤルを時計回し(右巻き)に回してスプロケットカバーを固定します。



⑥ チェーン刃の張りを調整します。

- チェーン刃調整ダイヤルでチェーン刃の張りを調整してください。

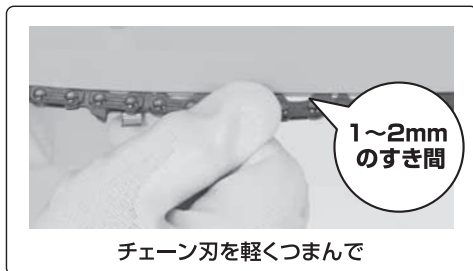
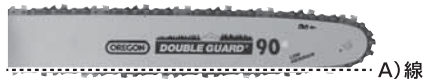
チェーン刃調整ダイヤルを回す際はスプロケットカバー固定ダイヤルと一緒に回らない様に手でおさえてください。



ご使用前の準備 チェーン刃の取付け・取外し・調整のしかた

チェーン刃の調整の目安

- チェーン刃は張りすぎるとモーターに負荷が掛かり作動しません。また緩すぎるとガイドバーからチェーン刃が外れます。
※けがの原因になります。
- チェーンガイドバー下部A) 線に軽く接触する程度に合わせる。
※ガイドバー下A) 線とチェーン刃のすき間は、チェーン刃を指で軽くつまんで1~2mm程度に調整してください。
- 新品チェーン刃は伸びやすいので、初期使用時はこまめにチェーンの張り具合を調整してください。



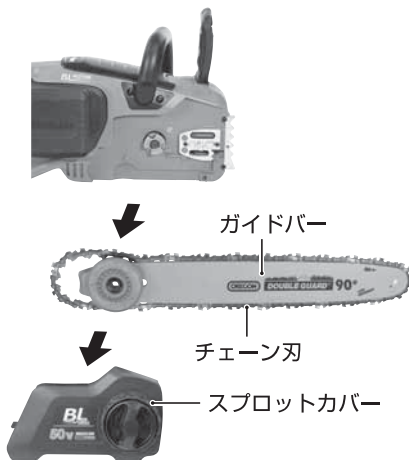
⚠ 注意

- チェーン刃の張り過ぎはガイドバーの摩耗を促進します。またチェーン刃の破損などの原因になります。
※事故の原因になりますのでご注意ください。
- チェーン刃は新品のうちは伸びやすいのでチェーンの張り具合はこまめに調整を行ってください。
- チェーン刃が緩すぎると、チェーンがガイドバーから外れることがあります。ご注意ください。
- ガイドバーもチェーン刃の張り具合によって摩耗しますので、新品のチェーン刃交換時にガイドバーも反転してご使用ください。

2 チェーン刃の取外し方

⚠ チェーン刃を取り扱う際は必ず
防護手袋をはめて作業を行う。

- ① 電池パックを取外してください。
- ② スプロケットカバーを取外してください。
 - スプロケットカバー固定ダイヤルを時計の逆回し(左巻き)に回してスプロケットカバーを取り外します。
- ③ ガイドバーを取外してください。
 - チェーン刃調整ダイヤルを時計回り(右巻き)に回してチェーン刃を緩めてからガイドバーを取外してください。
- ④ ガイドバーからチェーン刃を取外してください。



ご使用前の準備

3 チェーンオイルの給油方法

チェーンオイルについて

- 市販品のチェーンオイルをお買い求めください。
- 本機はチェーンオイルが給油された場合は、自動給油されます。
- 作業前にオイルタンク内のチェーンオイル残量を確認してください。

- チェーンオイルはゴミなどの混入物の混じったオイルを使用しないでください。
※故障の原因になります。
- チェーンオイル以外の揮発性のオイルは絶対に使用しないでください。
※事故の原因になります。

① オイルキャップを取外します。

- オイルキャップ取っ手を上に押し上げます。
- オイルキャップ取っ手を時計の逆回しに回して取外します。
※オイルキャップは本体とヒモでつながっています。



オイルキャップ

② チェーンオイルを給油します。

- 市販のチェーンオイルを給油口に注入してください。

チェーンオイル給油容量 約0.12L

- チェーンオイル残量確認窓からオイルの残量が確認できます。(本体を立てた状態で確認してください。)



押し上げる

まわす

③ オイルキャップを取付けます。

- 給油が終わったらオイルキャップを時計回りに回して取付けます。
- オイルキャップ取っ手を倒します。



取外す

【チェーンオイル残量確認】

チェーンオイル
残量



MIN→最低ライン



オイルが入ると
白窓の色が濃くなる。

ご使用前の準備

4 持ち運びについて

- 本機の持ち運びには、必ず電池パックは取外してください。
- ハンドガードブレーキを掛け、チェーンカバーを被せてください。
- 電池パックには、必ず安全カバーを取付けてください。



ご使用方法・作業方法

⚠ 警告

- 本機の作業中はチェーン刃・ガイドバー部や回転部、切屑などに手や顔などを近づけないでください。
※けがの原因になります。
- 本機作業中は両手でしっかりと確実にハンドルを保持してください。また作業場足元の安定できることを確認してください。
※けがの原因になります。
- 高所の場所や木に登って作業するなどの、不安定な姿勢での使用はしないでください。
※けがの原因になります。
- 本機作業で、ガイドバー先端部で切断をしないでください。また、ガイドバー先端部で枝や地面などに触れさせないように作業を行ってください。
※本製品先端部が跳ね上がりキックバック現象で、事故やけがのおそれがあります。

⚠ 注意

- 複数台での作業を行うときは、十分に安全な距離を開けて行ってください。
※事故の原因になります。

【事業者の方へ】

樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行うときは、法、規則に定める特別教育を受けた人に行わせてください。

(関連法令)

- 労働安全衛生法第59条第3項
(2020年7月30日までは安全衛生特別教育規程は第10条の2劣)
- 安全衛生特別教育規程第10条
(2020年7月30日までは労働安全衛生規則第36条第8号及び8号の2)

1 本体に電池パックを取付ける

- 充電した電池パックを電池パック差し込み口に「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
※電池パックが大きく重いので、ゆっくりと丁寧に奥まで差し込んでください。



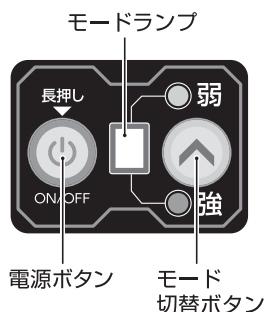
ご使用方法・作業方法

2 電源をONにします

- 電源ボタンを長押ししてください。電源が入るとモードランプが点灯します。
- モード切替ボタンを押してモードを選択します。

弱 → 強 モード切替ボタンを押す度に「弱」「強」が切り替わります。

モード	モードランプ	回転速度
弱	緑	中速
強	青	高速



3 ハンドガードロックを解除します

- ハンドガードを手前に引いてロックを解除します。

安全の為ご使用時以外はハンドガードをロック状態にしてください。



4 安全ボタンを押しながらスイッチを握ります

- 本機が作動したら、スイッチを握ったまま、安全ボタンを離しても固定され本機の連続作業が可能になります。
- スイッチを離すと作動が止まります。

※再び作動する際は安全ボタンを押しながらスイッチを握ってください。

作動しない場合は

- 電池安全機能が作動している可能性があります。(電池パックの充電量が少なくて作動しない機能) 対応 → 充電してください。
- 本機と電池パックが完全に差し込まれていないため。

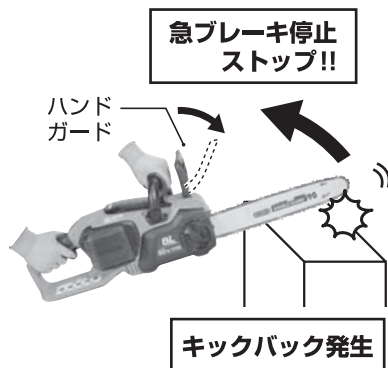


ご使用方法・作業方法

ハンドガード(ブレーキ)について

- 本機は万が一、キックバック(本機先端からのね返り)等が生じた場合に、危険を少なくするため、急ブレーキ機能を備えています。
- ハンドガード前方に移動し、同時に急ブレーキを掛けて停止する。

- 作動時にハンドブレーキが作動するか確認してください。
- 安全の為、ハンドブレーキは必ず解除してから作業を行ってください。
- ハンドブレーキが作動中本機は作動しませんが、故障ではありません。ハンドブレーキを解除しスイッチ操作を正しく行えば作動します。



チェーン刃オイルの潤滑の確認

- トップハンドルとサイドハンドルをしっかりと両手握り、チェーン刃を材料より少し離して作動してください。
 - ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認してください。
- ◎チェーンオイルが吐出したら作業はできます。



切断材料はしっかりと固定してください

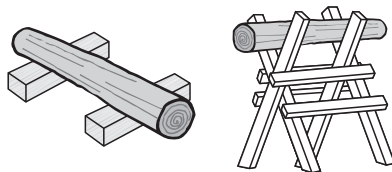
- 固定しないとけがの原因になります。
- ガイドバー先端では切断しないでください。
- 複数の切断を同時に行わないでください。



ご使用方法・作業方法

基本的な作業環境

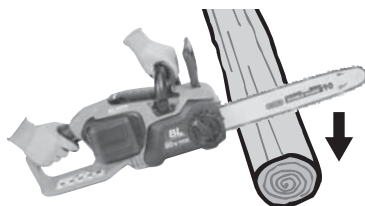
- 丸太などの切断には、材料が回らないように固定する。
- うま（作業台）などを用いて材料が動かないようにする。
- ◎材料が固定され安定していれば、作業はできます。



うま（作業台）

樹木の選定

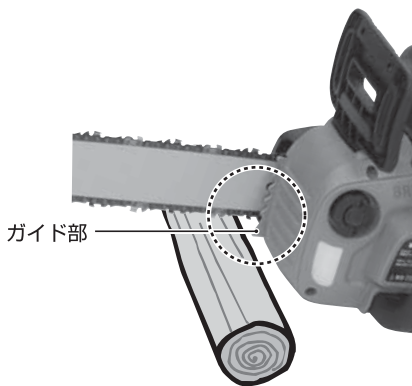
- 右図のように本機のガイド部を材料に当てて、真下へ押し切断します。チェーン刃の切れ味に合わせて無理に本機に力を入れて切断しないようにしてください。
※無理に押し付けて切断すると、チェーン刃が止まることがあります。
- ◎本機の自重で切断するとスムーズに早く切れ、チェーン刃も長持ちします。
- 本機のガイド部を切断部分に軽く押し付け、スイッチを入れ、他の枝からチェーン刃を離して切断してください。



真っすぐ下に自重で切断イメージ

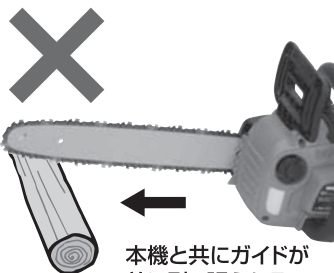
⚠ 注意

- 切断枝が本機のガイド部に接していないと、本機がガイドの先端に引っ張られ、刃先がブレますのでご注意ください。



ガイド部

材料を本機ガイド部に合わせて切断する

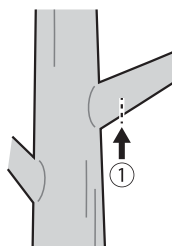


本機と共にガイドが前に引っ張られる

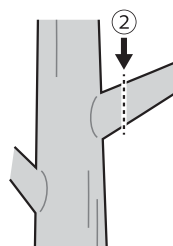
ご使用方法・作業方法

太い枝の剪定

- 太い枝を剪定するときは、①枝の下側に少し切り込みを先に入れてから、②上から枝を切断してください。
- 右図の①を切り過ぎると枝の重みでチェーン刃が挟まれるので注意してください。
- 下側に切り込みを入れなくて、上から切断すると途中で枝が裂けて、切り口が乱だつになります。

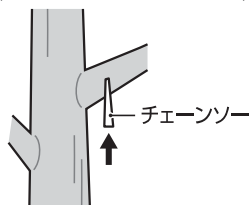


枝の下に切り込みを入れる



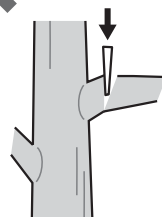
上から切断する

✕ 下側からの切断



チェーン刃が挟まれる

✕ 上側からの切断

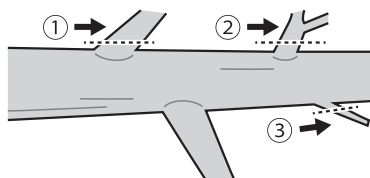


裂ける

枝払い作業

- 倒した樹木の枝払いは、最初に上部側面の枝を一方より切り落としてください。
- 幹を支えている大きな枝を残して、地面側の枝を下側より切り落としてください。

横たわった樹木



上部側面の枝を一方より切り落とし
地面側の枝を切り落とす

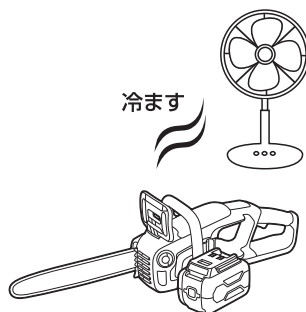
ご使用方法・作業方法

本機および電池パックの保護機能

本機を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

●本機および電池パックの温度が高くなるとモーターが自動停止します。

- 本機が熱くもなく突然自動停止した時は、電池パックの電池残量が低下し過放電保護装置が働いて停止もします。その場合は直ちに充電を行ってください。
- 使用を中断して本機より電池パックを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
- 電池パックを冷ましても本機が動作しない場合は、本機を冷ましてください。



●電池パックの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。故障ではありません。

- 本機より電池パックを取りはずし、電池パックを充電してください。
- 電池自体にも電圧残量表示で確認ができます。PUSHボタンを押す。
→ LEDライト1個点灯またはLEDライト1個が点滅になります。

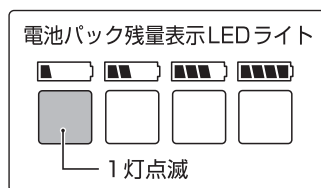
【PUSHボタンを押すと】

●電池残量表示LEDも1灯点滅します。

※この状態で作業すると電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といえます。作業は中止し、直ぐに充電を行ってください。

●本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。

- いったんスイッチをはなし、本機より電池パックを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。



電池パック・充電器について

電池パックについて

- 下記の状態となった場合、特に電池パック寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「緑」「赤」のライトが点滅して充電時間が長くなることがあります。
 - 高温充電の繰り返し……連続作業後の放電による熱い電池パック充電など。
 - 低温充電の繰り返し……0℃以下からの急な充電など。
 - 満充電電池パックの再充電の繰り返し
 - 過放電の繰り返し（過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。）

電池パックを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら作業を中止して、充電してください。
- 満充電した電池パックを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- 使用直後などの熱くなった電池パックは、充電器に差し込む前に冷却してから充電することをおすすめします。
- 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオン電池パックは満充電してから保管することをおすすめします。
- 冬期間の0℃以下の電池は直ぐに充電せず、少し温めてから充電することをおすすめします。

電池パックのリサイクルについて

- リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。廃棄の際は下記の手順を参考にして販売店にお持ちください。
- 電池パックの接続端子をショートさせないように、テープ等で絶縁をする。電池パックは最寄りの販売店かリサイクル協力店にお持ちください。



お手入れ・保管 チェーンの目立て

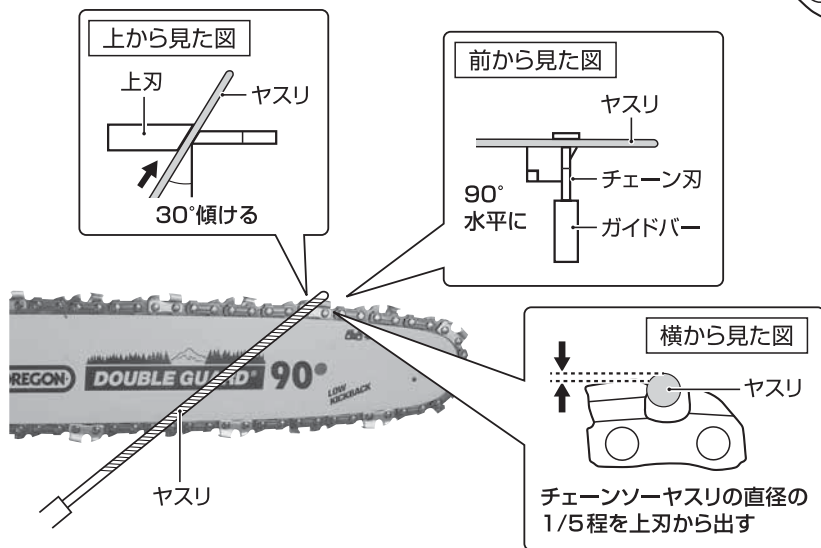
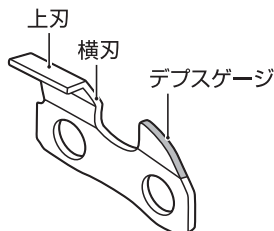
警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れ前には、必ず電池パックを本機より取外して行ってください。
※不意に作動してけがのおそれがあります。
- 日頃の点検をおこない、保管場所が40℃以上になる場所での保管はしないでください。
※電池の寿命を損ねたり、使用できなくなることがあります。
- 本機、各部品を子供の手の届かない場所に置いてください。
※子供が間違って使用したり、飲み込んだりして事故やけがのおそれがあります。
- 点検・日常整備には必ず手袋をはめて行ってください。
※チェーン刃でけがの原因になります。

お手入れのしかた 電池パックは取外す

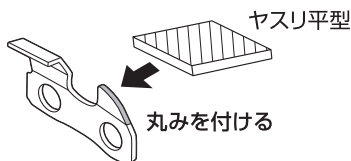
チェーン刃の目立て修正方法

- 1) 本機ガイドバーを基準に対して、図のように市販品のチェーンソーヤスリ4.5mmを傾け、ヤスリの直径の1/5程上刃より出るように本機のチェーン刃に当ててください。
- 2) チェーンソーヤスリ4.5mmを水平に保って、ヤスリを押し時だけ研磨し、手前に引くときはヤスリを刃に当てないようにして、上刃と横刃の目立てを行ってください。



デブスゲージの研磨方法

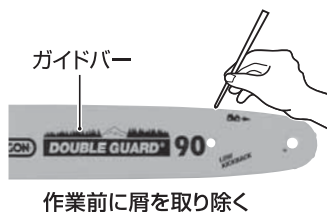
- デブスゲージはチェーン刃の切り込みしろを適正に保つためのものです。
- 市販品のヤスリ平型をご用意してください。
- 右図のデブスゲージの角に丸みを付けることです。



お手入れ・保管 チェーンの目立て

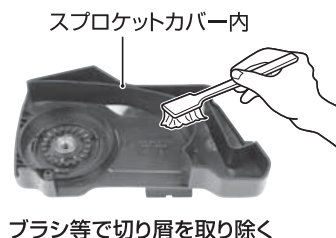
ガイドバーの清掃

- 使用中にガイドバーの凹部（溝部）に屑が入ってつまることがあります。切り屑がガイドバーにつまると、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなりますので作業前に点検を行ってください。
 - ・チェーン刃を外して細くガイドバー凹部にある屑を取り除いてください。
 - ・ガイドバー凹部等に傷や変形させないように丁寧に行ってください。



スプロケット内の清掃

- スプロケットカバー内に切り屑が溜まるとモーターに負荷がかかるので清掃を行ってください。
 - ①スプロケットカバー固定ダイヤルを時計の逆回しにゆるめてください。
 - ②スプロケットカバーを取外して、内側及び本機側をやわらかいブラシ等で切り屑を取り除いてください。

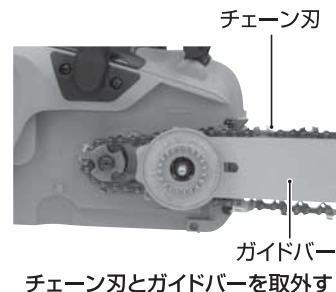


オイル吐出口の清掃

- 点検運転や作業中にガイドバー先よりオイルの吐出が無かったり、チェーン刃にオイルが回っていないときに行ってください。
 - ・使用中に切削屑や細かなゴミがオイル吐出口につまることがあります。
 - ③チェーン刃とガイドバーを取外してください。
 - ④オイル吐出口のゴミを取り除いてください。

本機に電池パックを取付けてください。

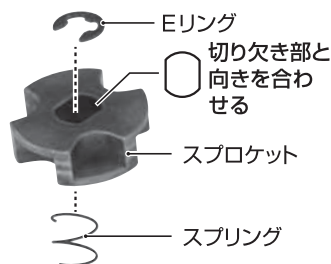
- ⑤本機スイッチを入れ作動させて、オイル吐出口に溜まっているゴミを本機内備蓄のチェーンオイルで洗い流してください。
 - ⑥電池パックを本機から取外してください。
- ※⑦ここまで終了際は、ガイドバーにチェーン刃を取付け、スプロケットカバーを取付けてください。
- ※⑦より次のスプロケットの交換の場合は⑥の状態から進めてください。



お手入れ・保管 チェーンの目立て

スプロケットの交換方法

- チェーン刃を交換するときは、同時にスプロケットも摩耗状態を確認してください。
- スプロケットが摩耗している場合は交換してください。
 - ①スプロケット中央にあるEリングを市販品のマイナスドライバー等で〇切り欠き部より取り除いてください。
 - ②スプロケットを取外してください。(引き抜く)
 - ③スプリングの交換は不要です。
 - ④本機別売部品スプロケット品番: UB50VCBL-SPK 1を販売店にご用命ください。



切り欠き回転軸部

本機を保管する場合

- ◎本機のスプロケットカバーを取外して、製品に付着した切り屑等をやわらかいブラシやエアにて取り除いてください。
- ◎ガイドバーにチェーン刃を取付けたまま、手袋をしている手でチェーン刃を回しながらガイドバー及びチェーン刃にオイルを付着させてください。
 - ※必ず素手でさわらないで、手袋を付けて行ってください。けがの原因になります。
- ◎本機スプロケットカバーを取付けてください。
- ◎チェーン刃の調整を行ってください。調整が終わったらスプロケットカバー固定ハンドルをしっかりと締め込んでください。
- ◎オイルタンクキャップを取外して、タンク内のオイルを抜いてください。
 - ※本機オイル満タン量は約0.12Lです。汚れても良い敷物を敷いて市販品容器に移してください。
- 不具合があった場合は、販売店にご相談ください。

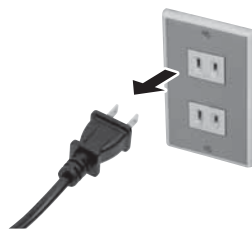
お手入れ・保管

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れ前には、必ず電池パックを本機より取外して行ってください。
※ 不意に作動してけがのおそれがあります。
- 日頃の点検をおこない、保管場所が40℃以上になる場所での保管はしないでください。
※ 電池の寿命を損ねたり、使用できなくなることがあります。
- 本機、各部部品を子供の手の届かない場所に置いてください。
※ 子供が間違えて使用したり、飲み込んだりして事故やけがのおそれがあります。

お手入れのしかた

- 充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- やわらかい布でふく、濡れた布や、シンナー・アルコール・ベンジンなどの揮発性のものは使用しない。
- 本体や部品装着品のネジの緩みがないか確認する。緩みがある場合は、締め直してください。
※ ネジの締め過ぎ、付属品等の無理な押し込み、収納は破損のおそれがあります。
- 油污れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か銹水を付けた布をかたくしぼってから本機をふいてください。
※ 本機は防塵・防水ではありませんので、ゴミ・ホコリ・雨水等を侵入させないでください。
- 充電器や本機の通風口をやわらかいブラシ等で軽くゴミを取り除く。
- 充電器の接続端子や電池パックの接続端子のゴミをやわらかいブラシ等で取り除いてください。



付属品のお手入れ

- 各種アタッチメントは本体やケースなどに適正な保管場所が装備されていますが、簡易的な収納ですので作業環境によって邪魔になる場合や、紛失の可能性もありますので別途収納袋等に各自保管してください。
- 各種市販のアタッチメントは、材質や形状違い、長短・刃物形状違い等がありますので、摩耗状態などをよく確認して、無理な使用はしないでください。破損に注意して取付けや保管をお願いします。

保管のしかた

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温になる場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 子供の手の届く場所。
- ゴミやホコリの多い場所。
- ガソリン・揮発性の高い引火物が有る場所。

故障かな?と思ったときに

修理を依頼される前に一度下記項目を点検してください。

○充電のとき

状態	原因	処理
●充電器の通電赤LEDが点灯しない。	●コンセントに通電されていない。	●別のコンセントで試してください。
●充電器の充電中、緑LED点滅にならず充電されない。	●充電器と電池パックの接続がされていない。	●奥までカチッと音がするまで差し込んでください。
	●電池が高温の為に充電されない。	●緑・赤LED点滅中は充電ができないので、ファンで冷却後に自動充電され、緑点滅LEDに変わります。
●充電器が赤点滅LEDを表示して充電が開始されない。	●作業後直後の熱い電池を充電した為。	●新品電池を別途お買い求めください。(販売店まで)
	●電池が過放電状態になっていて充放電が出来ない状態です。	

○作業のとき

状態	原因	処理
●本機が動かない。	●電池パックが正常に本機に取付けられていない。	●電池パックを奥まで差し込んでください。
	●回転に過負荷な状態である。	●過負荷の原因を除去してください。
	●ガイドバーにチェーン刃がはまっていない。	●スプロケットカバーを外して組み直してください。
●切れない。	●チェーン刃が張り過ぎている。	●本機の回転方向に合わせてください。
	●チェーン刃の回転方向が違う。	●目立てヤスリで研いでください。
●回転が上がらない。	●チェーン刃が摩耗している。	●電池パックを充電してください。
	●電池電圧が少ない。	●電池パック自体の残量表示を確認してください。
	●連続過負荷作業によって本機が熱くなって安全装置が働いている状態。	●本機から電池パックを外して本体と電池パックを冷ましてからお試してください。
●作動時スイッチ部分からピーと異音がある。	●回転制御によるスイッチの電子音。	●別の電池でお試してください。
●フル充電しても作業時間が短くなった。	●電池の劣化寿命が考えられます。	●故障ではありません。
	●0℃以下に保管された状態。	●電池を20℃環境で1時間程温めてください。
	●電池電圧の低下。	●電池残量表示で確認してください。
		●新品電池を別途お買い求めください。

●上記記載されている処理をしても改善しないときは、本体・充電器・電池パックをセットで、販売店に修理の依頼をお申し付けください。

⚠ 警告

点検・整備の作業前には、必ずスイッチを切り、本機より電池パックを抜いてください。
※電池パックを本機に差し込んだまま行くと、事故やけがの原因になります。

仕様

●チェーンソー UB50VCBLBFS350N

電動機	DCブラシレスモーター	チェーンスピード	14.8m/s
電池パック	専用リチウムイオンバッテリー UB50VBP40	チェーンオイル タンク容量、給油方式	チェーンオイルタンク容量=0.12L、 給油方式=自動
入力電圧	DC50V	本機寸法 (約)	長さ489×幅220×高さ245mm
1充電あたりの作業量 (4A電池パック使用時)	赤松材80×200mm 86片	質量 (約)	3.65Kg (電池パック含まず)

●充電器 UB50VCG40

入力電圧	100V-120V
入力周波数	50/60Hz
入力容量	300W
出力電圧	58V
出力電流	4A
本機寸法 (約)	長さ170×幅230×高さ90mm
質量 (約)	890g

●電池パック UB50VBP40

本機寸法 (約)	長さ140×幅90×高さ95mm
質量 (約)	1.4Kg

改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

充電器	電池パック	充電時間 (約) <small>使用後冷ました電池パック</small>	UBシリーズ
UB50VCG40	UB50VBP40	約75分	50V全種使用可能

修理について

警告

- 保守、点検の際は、必ず電池パックを本機より取外してください。
※電池パックを取付けたまま行くと、不意に作動して事故の原因になります。
- 修理の際は、自分で分解・修理しないで、必ずお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金：基本料（修理検知）有料（商品によって異なります）
- ◎技術料：有料⇒診断・故障場所・修理・調整・修理後の点検作業、その他にかかる手間代、費用。
- ◎部品代：有料⇒修理に使用した部品・及びその他補助材料代です。

販売元

株式会社 コメリ

新潟県新潟市南区清水4501-1

お客様問合せ窓口：Tel.025-371-4805

